

地域発！ みんなでつくる再生可能エネルギー 「奈良モデル」づくり

〒630-8136
奈良県奈良市恋の窪1-2-2
電話：0742-34-8566
E-mail: info@nara-renergy.org
http://nara-renergy.org/



ひろげる助成

3年目

実践



完成したうだ夢創の里市民共同発電所の見学

再エネ「奈良モデル地域」の立上げ

5カ所

自然エネルギー学校・なら卒業生

26人

今年度計画の達成度

80%

活動の全体目標に対する達成度

80%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

奈良県南部・東部では、送電線網が脆弱である。また、FIT法による買取価格が低下し、市民が導入しやすい太陽光による市民共同発電所の設置が困難になった。

■ 工夫した点

送電線網に接続できる市街地での市民共同発電所づくりや、山間地域の森林バイオマスによる熱利用に重点を移した。天川村では温泉施設を運営する林業家とつながりを持った。

課題

奈良県では高齢化と担い手不足から森林の荒廃が進んでいる。また、エネルギー自給率も低い。再エネを活用した地域づくりに取り組む団体を支援することで、課題解決したい。

目標

太陽光・小水力・バイオマス発電利用の事業モデルの創出。エネルギー自給と地域活性化を実現するモデル地域が誕生し普及。県民・地元産業・金融・行政等との連携が深化。

活動内容と成果

うだ夢創の里市民共同発電所や東吉野つくばね発電所が完成し、天川村薪ボイラー導入施設とともに地域の再エネ支援拠点となるよう、自然エネルギー学校・なら2017の研修先とし、18名が参加、交流した。奈良市へ「市民協働発電所支援制度」の提案を行い、ともに検討を重ね、平成30年度予算に盛り込まれた。当法人理事が関わる「ならコープでんき」が2017年4月から小売り電力を開始した。地域住民主体で出来る水車プロジェクトは奈良県南部東部で広がり、山添村・川上村・十津川村など5地域で動き出した。



自然エネルギー学校 天川村薪ボイラー見学

全助成期間の活動を振り返って

山間地で地域活性化のモデルとなりうる「つくばね小水力発電所」と「うだ夢創の里市民共同発電所」が市民主体で完成した。天川村では自治体が林業家とともに薪製造と温浴施設の薪ボイラーを導入しており、その取組みを見学する機会を設けたことで理解者を増やした。山間地で住民主体の水車プロジェクト（コミュニティ型マイクロ水力）が広がった。当該活動を足がかりとして、継続的に地域の再生可能エネルギー事業の支援に取り組んだ。



川上村北谷での水車プロジェクト

今後の展望

3年間開発してきた再エネ奈良モデル（自立型太陽光発電、温泉施設の薪ボイラー、コミュニティ型マイクロ水力）を、県内に広げていくために、地域の実践者へ支援・アドバイスを行う。普及の担い手となる人材の養成に取り組むとともに、養成した人材と連携する。奈良モデル普及のための支援政策の立案を目的に、情報共有を行う「再エネ協働ネットワーク連絡会」を開催し、他団体と連携し、再エネ推進センター設立を検討する。